

SC-499(ランドリーロープ)

※必ず施工前にお読みください。本説明書は取付後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
※工具が付属の場合は本説明書と共に必ずご使用者様にお渡しください。

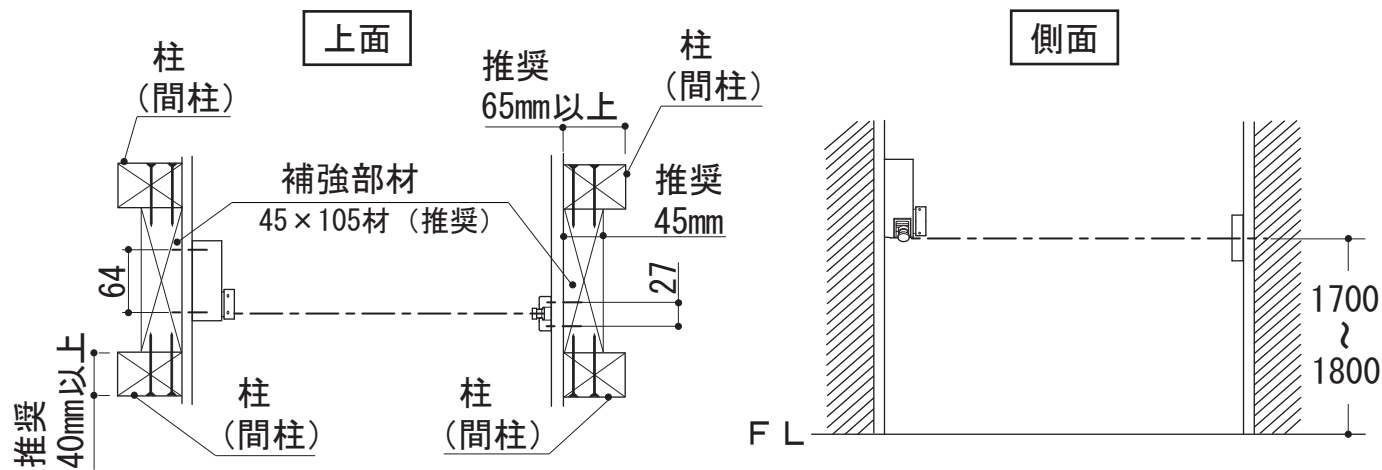
安全上の注意（必ずお守りください）

設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく設置してください。

■施工を誤った場合、使用者に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみの発生が想定される」内容です。
■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。			
⊘	この図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。	!	この図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
⚠警告 取付けに関する警告			
<div><div><div>!</div><div>■強度のない壁・補強が不十分な壁には取付けないでください。製品が落下してケガをするおそれがあります。</div></div><div><div>■在来工法の場合、ロープ荷重により壁面が引っ張られて破損をしない様、柱を利用した固定を行なってください。</div><div>設置予定場所が柱から離れている場合は柱と柱の間に間に補強部材を固定し、本体とホルダーの取付けネジがしっかり固定出来る様にしてください。</div></div><div><div>■間柱を利用した取り付けとなる場合は、設置場所の強度が十分である事を確認した上で、本体が固定可能となる様、間柱と間柱の間に補強部材を設置し、本体とホルダーの取付けネジがしっかりと固定出来る様にしてください。</div><div>■間柱がC型チャンネル等の軽鉄で構成されている場合につきましても、設置場所の強度が充分である事を確認した上で、間柱と間柱の間に補強部材を設置し、本体とホルダーの取付けネジがしっかりと固定出来る様にしてください。</div></div><div><div>■コンクリート下地への施工の際は、付属のアンカープラグ用の下穴（φ6×40）を開け、アンカープラグを併用して施工してください。</div><div>■ALC材・コンクリートブロック等には固定できません。軽鉄にも直接固定する事は取付けできません。取付けネジやアンカープラグが抜け、製品が脱落するおそれがあります。</div><div>■浴室設置の際に壁裏に水が浸入しない様、ホルダー裏面の固定ネジ穴付近と本体側パッキンの裏面の固定ネジ穴付近にはシリコンコーキングを塗布してください。また、ホルダー固定後ホルダーカバーを嵌める前に、長穴側はシリコンコーキングでネジの側面を塞ぐ様に充填してください。本体側も同様にコネクターまで固定した後、長穴を塞ぐ様にシリコンコーキングを充填してください。</div></div></div>			
<div><div><div>⊘</div><div>■取付けネジが傾かない様ご注意ください。ネジが傾いた状態でコネクターを固定した場合、はみ出したネジ頭で本体が固定出来ない恐れがあります。</div></div><div><div>■小さなお子様の手に届かない届かない高さに設置してください。</div><div>■当製品は浴室への設置は可能ですが、屋外や常に水のかかる場所には設置しないでください。</div><div>部品などの腐食により、製品が落下してケガをするおそれがあります。</div></div></div>			
<div><div><div>!</div><div>■取付け後、必ず製品が完全に固定されているかご確認ください。</div><div>※固定が不完全な場合、製品のがタツキや、落下してケガをするおそれがあります。</div></div></div>			

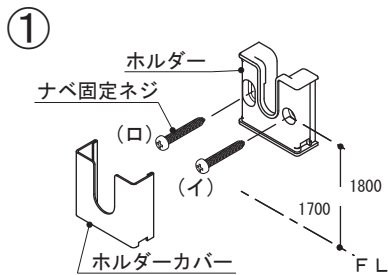
推奨する壁裏補強と取付け高さ



同梱部品（必ずご確認ください）



取付け手順

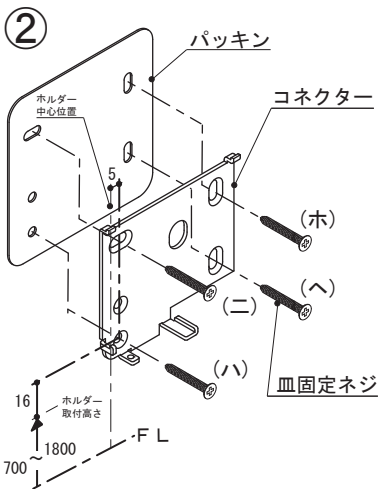


設置後の本体・ホルダー間のロープが水平となる位置を決め、本体と対面の壁にホルダーを取付けます。

ナベ固定ネジは図の順番にて、(イ)を固定後ホルダーの傾きを調節しながら(ロ)の順に固定します。

ホルダーを固定後、ホルダーカバーを嵌め込みます。

※浴室に設置の際は、ホルダー裏面の固定穴付近にシリコンコーキングを塗布しててください。また、固定ネジ穴からの水の浸入を防ぐ為、長穴側はネジ頭で隠れていない空洞部分をシリコンコーキングで塞ぐ様に充填してください。

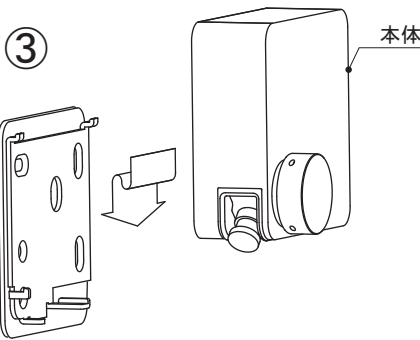


設置後の本体・ホルダー間のロープが水平となる位置を決め、ホルダーと対面の壁にパッキンと本体のコネクターを取付けます。

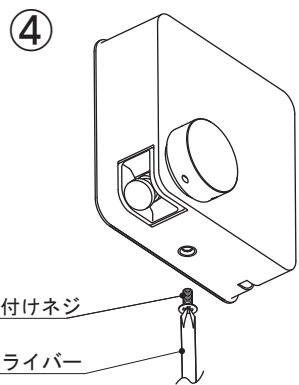
皿取付けネジは図の順番にて、(ハ)を固定後にコネクターの傾きを調節しながら(ニ)(ホ)(ヘ)の順に固定します。

※皿固定ネジを固定の際、ネジが傾いて取り付けられない様、ご注意ください。ネジ頭がコネクターからはみ出した状態では、本体が嵌らない恐れがあります。

※浴室に設置の際は、パッキン裏面にシリコンコーキングを塗布してください。また、固定ネジからの水の浸入を防ぐ為、長穴はネジ頭で隠れていない空洞部分をシリコンコーキングで塞ぐ様に充填してください。



壁面に固定されたコネクターのツメに上からスライドさせる様に本体側の切欠き部分を引っ掛けます。
※確実に嵌る様、上から充分に押し込んでください。



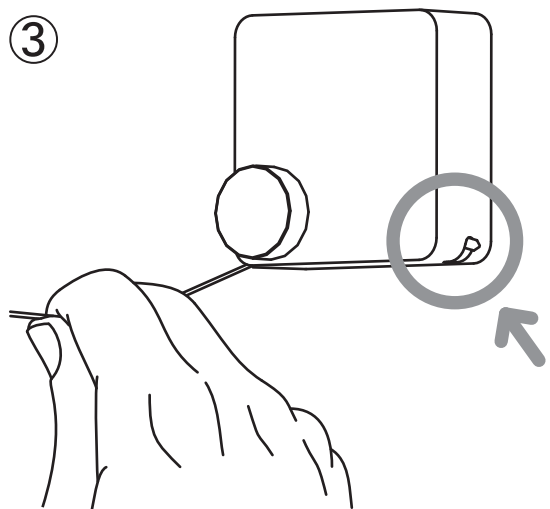
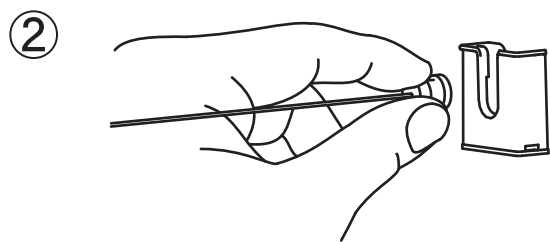
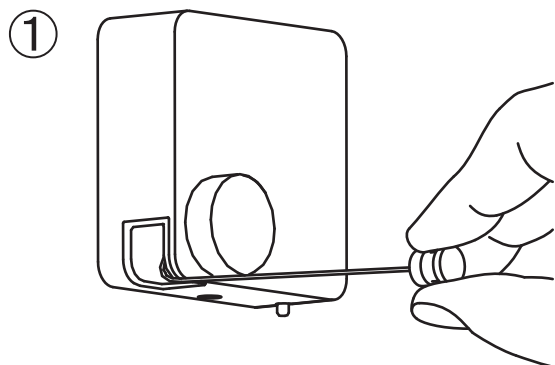
本体下側から取付けネジをドライバーにて固定し完了です。

※取付け後、必ず製品が完全に固定されているかご確認ください。固定が不完全な場合、製品のがタツキ、落下等の原因となります。

SC-499(ランドリーロープ)

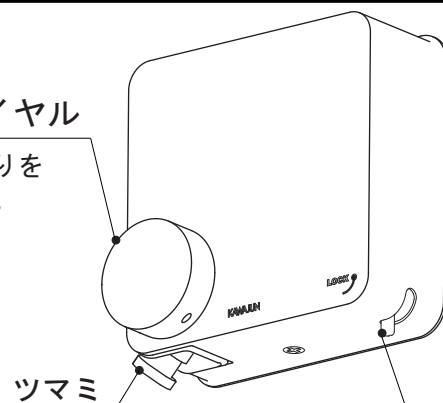
※必ずご使用前にこの取扱説明書(表:使用手順 裏:注意事項)をお読みください。
※本説明書は廃棄せずご使用者様にお渡しください。

使用手順



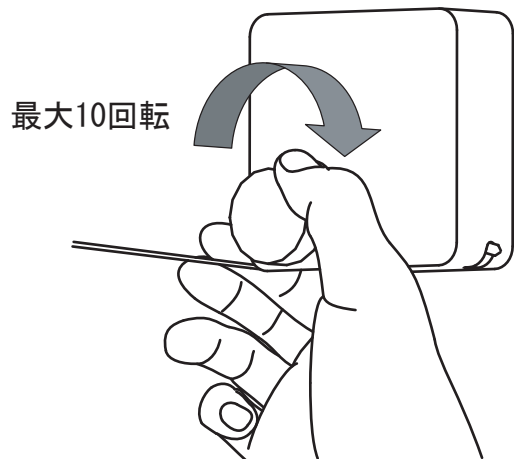
テンショナーダイヤル

③の後、ロープの張りを
強めたい場合に使用。



ロックスイッチ
上にするるとロック

④ ロープの張りを強めたい場合(洗濯物を吊るす前)



テンショナーダイヤルを時計周りに回転させると
ロープの張り強さを調節出来ます。
(およそ10回転まで締め上げ可能。)

※ロープを収納する際は、テンショナーダイヤルを
元に戻してください。

※一度緩んだロープを引っ張る機能ではありません。
ロープを張り直す際は、一度テンショナーダイヤル
を元に戻してから締め直してください。

ロープの収納は逆手順(④ → ③ → ② → ①)となります。

SC-499(ランドリーロープ)

※必ずご使用前にこの取扱説明書(表:使用手順 裏:注意事項)をお読みください。
※本説明書は廃棄せずご使用者様にお渡しください。

注意事項

設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく設置してください。

■施工を誤った場合、使用者に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意 この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

警告 ご使用に関する警告



本製品の耐荷重は10kgです。それ以上荷重を加えますと製品が破損してケガをするおそれがあります。
※洗濯物(1枚あたり)の脱水時重さ目安(弊社調べ)
(Tシャツ:250g ワイシャツ:250g トレーナー:900g フェイスタオル:150g バスタオル:400g)



洗濯物の室内干し用途以外にご使用しないでください。製品が破損してケガをするおそれがあります。



洗濯物を干す際は、必ずロックスイッチをご使用ください。ロックさせずロープに物を掛けた場合や、テンショナーダイヤル機能のみを使用してロープに物を掛けた場合、製品が破損してケガをするおそれがあります。



洗濯物を掛けたまま、ロックスイッチを解除しないでください。製品が破損してケガをするおそれがあります。



テンショナーダイヤルをご使用中の状態で、ロックスイッチを解除しないでください。製品が破損してケガをするおそれがあります。



本製品は壁壁間が3.6mまでの場所用です。ロープは3.6m以上引き出さないでください。製品が破損してケガをするおそれがあります。

注意 ご使用に関する注意



本製品の機能は、施工説明書(別紙)の記載内容に沿って施工されている事が条件となっております。(施工説明書では壁裏の柱材を利用した固定方法を紹介しております)製品固定部の壁裏に柱材がない場所等、強度の弱い壁に設置した場合、テンショナーダイヤルを使用した状態で洗濯物を干してもロープの張り効果が出ず、ロープが大きくたわむ等の症状が発生する事があります。



ロープを引き出す際はテンショナーダイヤルが完全にフリー(反時計回りに、回りきっている状態)を確認してから行なってください。テンショナーダイヤルが締められた状態でロープを引き出しますと、ロープに負担が掛かり、ロープ破損の原因となります。



化粧品や薬品が付着しない様にしてください。付着した場合はすぐに、完全に拭き取ってください。放置しておくと変色や腐食、劣化して破損しケガをするおそれがあります。



お手入れは乾燥した柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい時は水、又は水で薄めた中性洗剤(5~10%程度)を含んだ布で拭き、乾燥した布で水分を拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、酸やアルカリ性の洗剤、クレンザー等はご使用にならないでください。